



日経ソーシャルビジネスコンテスト オリエンテーション企画

「私」が生み出す変化が、社会を変える

～Z世代が生み出すソーシャル・イノベーション～

イベント開催背景

今年で第6回の開催を迎える「日経ソーシャルビジネスコンテスト（NSBC）」。

「日経ソーシャルビジネスコンテスト（NSBC）」は、日経新聞社が2017年から開催するビジネスコンテストで、持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）の普及、促進のため、17の開発目標のうちいずれかを解決するアイデア、ビジネスモデルを幅広い世代から募集しています。

より多くの地域から、より多くの世代の人たちに応募頂きたいということから、第6回の応募が開始された後の7月30日（土）に、今回初めて長野でもオリエンテーションを実施することとなりました。

Z世代をゲストに迎える他、長野県・長野市でのスタートアップ支援や、起業家支援やソーシャル・ビジネス促進を応援する方々にもご支援頂き、日経新聞社と連携して、長野でのソーシャル・イノベーションのムーブメントを盛り上げていく機会を目指しています。

※日経ソーシャルビジネスコンテストの詳細については、HPをご参照下さい。

<https://social.nikkei.co.jp/>

第6回の今年は、7月25日から応募開始です！

イベント開催目的

長野に住むZ世代を中心として、一人でも多くの人々が「自分が生み出す変化によって社会を変えることができる」ことを意識してもらえる機会となればと考えています。

今回は、既に自分の思いから活動を始めているZ世代をゲストに迎え、若者とともに考える地域やソーシャル・イノベーションについて考える機会としていきたいと思ひます。





開催概要

日時： 7月30日(土) 10:00~12:00 (~12:30まで交流会)

場所： FEAT.Space2F (〒380-0831 長野市東町131番地 FEAT.ビル 2F)

参加費： 無料

参加者数： 約30人程度を想定

参加申込： 参加申込みは不要です！当日会場にいらしてください

※なお、当日オンライン配信も予定しています

<https://fb.me/e/3DaFi9gfv>



プログラム内容 (案)

10:00~10:15 Opening : NSBC 横田さんよりメッセージ

10:15~11:45 ゲスト Talk & Panel Discussion

11:45~12:00 会場にいらしている応援者から一言

12:00~12:30 交流会

実施体制

主催：

日本経済新聞社 イベント・企画ユニット

協力：

Nagano Startup Studio、信州スタートアップステーション、NICOLLAP、Biotope

後援：

長野県立大学 (申請中)



ゲスト（予定）

| | |
|--|--|
|  <p>小林真緒子</p> | <p>津田塾大学総合政策学部 3 年・一般社団法人アンカー理事 2001 年生まれ、都立両国高校出身。大学進学後は探究学習に興味を持ち、アンカーの教育プロジェクトにて、PBL を通したキャリア教育を 複数の中高で実施。同時に、2020 年度は中高生を対象に SDGs をテーマとした動画コンテスト "#SASS" の立ち上げに携わり、2 期目には大学生実行委員の代表を務める。地元江戸川区では、区の目指すべき未来を考える、「みんなのえどがわ大会議」に若者代表として登壇。文部科学省 次世代ユネスコ国内委員会リーダー。</p> |
|  <p>中島幸乃</p> | <p>慶應義塾大学環境情報学部 2 年・LGBTQ+活動家</p> <p>2002 年生まれ、慶應義塾女子高等学校出身。自身も LGBT 当事者として、各地の中学校や高校、さらには企業にてダイバーシティについての教育事業を行なっている。また、ミュージカル子役を経て、映像、舞台、落語などマルチに活動しながら、作曲など様々な表現方法を学び、「自分にしかできない表現」を模索している。</p> |
|  <p>横田浩一</p> | <p>慶応大学大学院特任教授/横田アソシエーツ代表取締役 日本経済新聞社を経て 2011 年株式会社横田アソシエーツを設立。企業の SDGs、ESG 分野に携わると共に一般社団法人アンカーの共同代表理事として、大学生と共に中高生向けに SDGs をテーマにした探究学習を実施。著書に『SDGs の本質』など。現在朝日新聞デジタル SDGs ACTION に「ビジネスパーソンのための SDGs 講座」を連載中。</p> |
|  | <p>長野県立大学大学院ソーシャル・イノベーション研究科専任講師/株式会社 re:terra 代表取締役社長/一般社団法人 AWSEN 代表理事</p> <p>長野県出身。東日本大震災の被災地域である陸前高田地域でとれる椿油をつかった気仙椿化粧品の開発・販売に携わり、2012 年より販売。2021 年グッドデザイン賞受賞。企業の途上国・新興国への事業進出支援として、東南アジア・中東・中央アジア・アフリカにも関わる他、AWSEN（アジア女性社会起業家ネットワーク）を通じて日本を含むアジアを中心として女性社会起業家支援に尽力している。</p> |
| | <p>※長野県立大学学生など、調整中。</p> |